



為石小学校の合言葉 「ためし 最高! ~地元で学び 地元を活かし 地元とともに行動する子ども~」



○楽しく めあてをもって しっかり学ぶ
○正しく めあてを しっかり守る
○たくましく めあてに向かって しっかり鍛える

学校だより



ためし



令和7年11月5日号 文責 上久木田 雄二

たかが言葉 されど言葉

2024年度の「国語に関する世論調査」の話題がメディアで取り上げられたのをご存じですか。

「にやける」「潮時」はすでに、本来とは異なる意味の方が定着しつつあるということです。

皆さんは、「にやける」はどのような時に使いますか。

「薄笑いを浮かべ、にやにやしている」様子を表すときに使うことが多くありませんか。

しかし、本来は「なよなよとしている様子」が「にやける」の意味なのです。

では、「潮時」はどうですか。
何となく、物事が終わろうとしているときに使いたくなる言葉になっていますが、本来は「ちょうどいい時期」を示します。

言葉は「文化」の一部ですので、時代とともに変化し、移ろいやすいものであること事実だと思います。

私が恐れるのは、一部の閉ざされた仲間内でしか通用しない言葉を、万人が理解すべきだと誤解されることです。

最近の子どもたちの多くは、SNSから言葉を学んでいることが多いことが気になります。

使う言葉は、その人の人柄を表します。

使う言葉で、思考力や判断力の深さが分かります。

一方的に無秩序に垂れ流される動画の中には、野蛮で暴力的で人権的に問題の多い「言葉」が使われていることがあります。

子どもたちの動画視聴の時間が年々長くなっていることを文部科学省も危惧しています。

それは、子どもたちは、十分に吟味されているない言葉や相手への思いやりに欠けた言葉を発して当然であると勘違いしかねないからです。

事実子どもたちの会話を聞くと、

聞くに堪えない「罵詈雑言」
相手を選ばず発する「セクハラ言葉」

が出てきます。教師に対しても発する様子が見られたときは、厳しく叱るようにしています。

HPはこちら



二次元コード読み取り 「カラー版は、ホームページでご覧いただけます。」

